



たかはし るな
山形県南陽市 **高橋 留奈**さん

～南陽市の地域おこし協力隊員として、初の有害鳥獣対策活動と地域交流の活性化に取り組んでいます。～



協力隊員になったきっかけや思いをお聞かせください。



南陽市が募集した、有害鳥獣対策関係の地域おこし協力隊員としての活動も2年目に入りました。

以前から、「狩猟」や「地域おこし協力隊員」に興味があった私にとって、猟銃や罠の免許を取得し有害鳥獣対策として狩猟が仕事の一つになることや、前職の飲食店が、店舗の老朽化に伴う解体により閉店を余儀なくされた時期であり、人生の岐路に立っていたこともきっかけの後押しになり、地域おこし協力隊員の募集は千載一遇の機会と考え、決断しました。

今は、地域の力になるため、猟の経験の積み重ね、有害鳥獣対策の知識吸収に奮闘しています。また、住民の方々との交流により地域の活性化とともに鳥獣対策に関する情報を発信していければと考えています。



南陽市地域おこし協力隊員
高橋 留奈さん



協力隊員になり大変だったことなどをお聞かせください。

有害鳥獣対策活動に必要な免許の取得が大変でした。

銃砲所持許可は、筆記試験や身辺調査もあり難関でしたが、猟友会の皆様からは期待と大きなサポートをいただいたおかげで、銃砲所持許可を交付され、併せて狩猟免許（銃猟とわな猟）を取得し、晴れて有害鳥獣対策活動を行えるようになりました。今後は、狩猟の経験と実績を積み重ねていきたいです。



免許取得のため猛勉強しました。



今後の活動や夢をお聞かせください。



活動の拠点であるシェアハウス CASA DE KOTAKI (カサ デ コタキ) ※ スペイン語で「小滝の家」

有害鳥獣による被害を少しでも減らしていくために、狩猟による駆除とともに、普及活動でゾーニング（人と動物の地域区分け）に力を入れていきたいです。捕獲した動物については、少しでも有効に活用するために、毛皮や爪をアクセサリーにできないか模索しています。

地域交流は、拠点のシェアハウスの見学祭などを中心に、引き続き進めていきたいです。

東北農政局 山形県拠点 地方参事官室

TEL:023-622-7231/FAX:023-622-7256